

ENGLISH NOW English Communication I

評価規準(例②)

Lesson 1 “Hello, Everyone.”

(配当時数：4 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B)自己紹介 p.12	簡単な自己紹介をすることができる。		○			活動の観察： 名前や出身地，出身中学校，趣味，特技などの簡単な自己紹介をクラスで行わせ，適切な表現を使って自己紹介ができていることを確認する。
(A)本文の読解 p.13 本文	自己紹介に関する英文を読んで，内容を読み取ることができる。			○		本文の要約： 口頭で要約させることや，日本語訳の空所補充問題（『ワークブック』 p.3 〈本文の要約〉参照）をワークシートで提示し，本文の内容が読み取れていることを確認する。 ワークシートの確認： <i>Teacher's Book</i> に掲載されている補充問題[Q&A]や指導書（解説編）に掲載されている True or False をワークシートで提示し，本文の内容を理解していることを確認する。
(A)教科書の音読 p.13 本文	相手に伝わる正確な音読ができる。		○			個々の生徒の発音を観察： CD の音声に近いリズムとイントネーションで音読できているかを確認する。新出単語を正しい発音・アクセントで発音できているかを確認する。
(A)言語知識① p.14 KEY POINT① p.14 DRILL	be 動詞と一般動詞の平叙文の使い方を理解している。				○	ワークシートの確認： DRILL の問題や『基礎文法ワークシート』pp.2-3 などの類題をワークシートで提示し，主語の人称に対応する be 動詞を選ぶことができることと，一般動詞の三単現の s のルールを理解していることを確認する。

<p>(B)自己紹介についての対話 p.15 CONVERSATION p.15 ACTIVITY</p>	<p>ペアワークによる自己紹介で、互いに協力して会話を続けることができる。</p>	○			<p>活動の観察： 対話例や Word Box の表現や単語を用いて、ペアで会話が途絶えないよう努力しているかを確認する。</p> <p>ワークシートの確認： 教科書に書き入れる自己紹介の内容をワークシートに記入させ、取り組みの状況を確認する。</p>
<p>(A)言語知識② p.16 KEY POINT② p.16 DRILL p.17 CONVERSATION</p>	<p>助動詞の使い方を理解している。</p>			○	<p>ワークシートの確認： DRILL の問題や『基礎文法ワークシート』 p.4 などの類題をワークシートで提示し、助動詞の意味と使い方を理解しているかを確認する。</p> <p>活動の観察： CONVERSATION の活動を観察し、正しい標識を選ぶことができていることを確認する。</p>

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Lesson 2 Text Message

(配当時数：5 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A)聞き取り p.18 Warm-Up	啓太の誕生日プレゼントについての話を聞いて、内容を正しく聞き取ることができる。			○		ワークシートの確認： Listening 問題をワークシートで提示し、正しい答えを選択していることを確認する。その際、イラストがヒントになっていることをリスニングの前に説明する。
(A)読解 pp.19-21 本文	顔文字と略語に関する英文を読んで、内容を正しく理解することができる。			○		ワークシートの確認： 教科書下段にある本文についての質問をワークシートで提示し、本文の内容を正しく理解していることを確認する。
(A)顔文字の文化 p.19 本文	国により使われる顔文字が異なることを理解することができる。				○	ワークシートの確認： 本文に出てきた日本と英語圏の顔文字をワークシートで提示し、英語・日本語での意味を理解していることを確認する。
(A)言語知識① p.22 KEY POINT① p.23 DRILL	be 動詞と一般動詞の疑問文の使い方を理解している。				○	ワークシートの確認： DRILL の問題や『基礎文法ワークシート』p.5 などの類題をワークシートで提示し、be 動詞と一般動詞の疑問文のルールを理解していることを確認する。
(B)好きなものなどについての対話 p.23 CONVERSATION p.23 ACTIVITY p.25 CONVERSATION	ペアで自分や相手の好きなものなどについて積極的に会話ができる。	○				活動の観察： 対話例を用いて、ペアで積極的に会話していることを確認する。 ワークシートの確認： 教科書に書き入れる自分と相手の好きなものについての内容をワークシートに記入させ、取り組みの状況を確認する。
(A)言語知識② p.24 KEY POINT② p.25 DRILL p.25 CONVERSATION p.25 ACTIVITY	疑問詞を使った疑問文の使い方を理解している。				○	ワークシートの確認： DRILL の問題や『基礎文法ワークシート』p.6 などの類題をワークシートで提示し、疑問詞を使った疑問文のルールを理解しているかを確認する。 活動の観察： CONVERSATION と ACTIVITY の活動を観察し、be 動詞と一般動詞の疑問文が正しく使えていることを確認する。

<p>(B)持ち物の数についての対話 p.25 ACTIVITY</p>	<p>ペアで自分の持ち物の数を適切に伝え、相手の持ち物の数を正確に聞き取ることができる。</p>		○		<p>活動の観察： 対話例や疑問詞を使った疑問文の知識を用いて、ペアで正確に持ち物の数を伝え合っているかを確認する。</p>
--	--	--	---	--	---

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Let's Communicate 1 電話をかけよう

(配当時数：2時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A)電話表現の理解 pp.26-27 本文	本文に書かれている電話での対話を聞いて、内容を正しく理解できる。			○		対話の要約： 対話内容を口頭で要約させ、理解できていることを確認する。 ワークシートの確認： 対話内容に関する英問英答問題をワークシートで提示し、正しく理解できていることを確認する。
(B)電話での会話のロールプレイ① pp.26-27 本文	本文の対話について、自分の名前に変えて、電話に関する対話を相手に伝わるように行うことができる。		○			活動の観察： 正確なリズムとイントネーションで対話が行われていることを確認する。電話での会話は直接顔を合わせての会話ではないので、活動の際は背中を向け合うなど、直接顔を見ないで対話させる工夫をした方がよい。
(A)言語知識 pp.26-27 本文 p.26 Useful Expressions	電話をかける・受ける際の表現を理解している。				○	活動の観察： ペアで本文や Useful Expressions で学んだ表現を使い、電話で対話する活動（週末にどこかに遊びに行く約束を電話で行うなど）を行わせ、適切に表現が使えていることを確認する。 ※ペアで行う電話で対話する活動は p.27「練習しよう」で十分に練習した後に行った方がよい。
(B)電話での会話のロールプレイ② p.27 練習しよう	本文の対話の下線部を入れかえ、ペアで協力して電話に関する対話を続けることができる。	○				活動の観察： ペアによる対話が沈黙なくスムーズに進んでいることを確認する。また、ペアを変え、数回繰り返して練習させてもよい。
(A)電話で使う表現についての英語圏の文化知識 p.27 練習しよう	英語での電話のかけ方を知っている。				○	活動の観察： 「練習しよう」でのペアによる電話のかけ方を観察し、電話に関する適切な表現が身につけていることを確認する。
(B)電話で相手に用件を伝える p.27 練習しよう（発展）	英語で相手に用件を伝えることができる。		○			活動の観察： 本文や Useful Expressions で学んだ表現を使い、ペアで自分の用件を電話で伝える活動を行わせ、適切に用件を伝えることができていること、相手もそれを理解していることを確認する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Lesson 3 How Men and Women Talk

(配当時数：5時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A)聞き取り p.30 Warm-Up	教室でのいくつかの場面について説明している英語を聞いて、内容を正しく聞き取ることができる。			○		ワークシートの確認： Listening 問題と <i>Teacher's Book</i> に掲載されている補充問題をワークシートで提示し、正しい答えを選択していることを確認する。
(A)読解 pp.31-33 本文	アメリカの男性と女性の会話スタイルの違いについての英文を読み、内容を正しく理解することができる。			○		ワークシートの確認： 教科書下段にある本文についての質問と <i>Teacher's Book</i> に掲載されている補充問題をワークシートで提示し、本文の内容を正しく理解していることを確認する。
(A)アメリカにおけるジェンダーの文化 pp.31-33 本文	アメリカの男性と女性の会話スタイルの違いを理解することができる。			○		ワークシートの確認： 本文に出てきた男性と女性（モリスさんの息子と娘）の会話スタイルの違いをワークシートで提示し、日本とどのように異なるのかを正しく理解していることを確認する。
(A)言語知識① p.34 KEY POINT① p.34 DRILL p.35 CONVERSATION	動名詞の使い方を理解している。			○		ワークシートの確認： DRILL の問題や『基礎文法ワークシート』p.8 などの類題をワークシートで提示し、動名詞の構造を理解していることを確認する。 活動の観察： CONVERSATION の活動を観察し、動名詞を使った英文を言えていることを確認する。その際、意味を正しく理解していることも確認する。
(B)休みの過ごし方の調査 p.35 ACTIVITY	クラスで休みの過ごし方についてインタビューし、表にまとめることができる。		○			活動の観察： クラス全員に休みの日の過ごし方を質問し、メモを取らせ、適切に質問することができることを確認する。 ワークシートの確認： インタビューのメモを参考に、ワークシートで p.35 ACTIVITY のような表を提示し、項目とパーセンテージを記入させ、内容を確認する。また、その内容を英語で書かせ、評価することもできる。

<p>(A)言語知識② p.36 KEY POINT② p.36 DRILL</p>	<p>接続詞の使い方を理解している。</p>			○	<p>ワークシートの確認： DRILL の問題や『基礎文法ワークシート』 p.9 などの類題をワークシートで提示し、接続詞を用いた文を理解しているかを確認する。</p>
<p>(B)将来なりたいものについての対話 p.37 CONVERSATION</p>	<p>ペアで自分が将来なりたいものについて積極的に会話ができる。</p>			○	<p>活動の観察： 対話例を用いて練習させ、自分のなりたい職業について正しく言えていることを確認する。</p>
<p>(B)マザーグースの音読 p.37 ACTIVITY</p>	<p>マザーグースのリズムとイントネーションの特徴を捉えて音読することができる。</p>		○		<p>個々の生徒の発音を観察： マザーグース独特の韻を踏んだリズムとイントネーションで音読できているかを確認する。特に強く発音する箇所や単語の連結や同化が正確になされていることを確認する。 ※Old Mother Hubbard を暗唱させ、クラスで発表させたり、個別に生徒を呼んで音読テストを行ったりして評価することもできる。</p>

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A)聞き取り p.38 Warm-Up	先輩と後輩に関する英語を聞き、正しく理解することができる。			○		ワークシートの確認： Listening 問題をワークシートで提示し、正しい答えを選択していることを確認する。
(A)読解 pp.39-41 本文	日本と英語圏で異なる言語文化に関する英文を読み、内容を正しく理解することができる。			○		ワークシートの確認： 教科書下段にある本文についての質問と <i>Teacher's Book</i> に掲載されている補充問題をワークシートで提示し、本文の内容を正しく理解していることを確認する。
(A)日本と英語圏の言語文化の違い pp.39-41 本文	日本と英語圏で異なる言語文化があることを理解することができる。				○	ワークシートの確認： 年齢差に対する日本と英語圏の意識の違いについて、ワークシートに本文で学んだことを英語(習熟度によっては日本語または空所補充)で書かせ、理解していることを確認する。
(A)言語知識① p.42 KEY POINT① p.43 DRILL p.43 CONVERSATION	SVOC の文型の使い方を理解している。				○	ワークシートの確認： DRILL の問題や『基礎文法ワークシート』p.10 などの類題をワークシートで提示し、SVOC の文型のルールを理解していることを確認する。 活動の観察： CONVERSATION の活動を観察し、SVOC の文型を使った英文を言えていることを確認する。その際、意味を正しく理解していることも確認する。
(B)商品のキャッチコピーの作成 p.43 ACTIVITY	例や Word Box の表現を使って、商品のキャッチコピー作成することができる。		○			作文の確認： p.42 KEY POINT①で学んだ SVOC の文型や例、Word Box の表現を適切に使用し、英文が正しく書けていることを確認する。
(A)言語知識② p.44 KEY POINT② p.44 DRILL p.45 CONVERSATION	形式主語の使い方を理解している。				○	ワークシートの確認： DRILL の問題や『基礎文法ワークシート』p.11 などの類題をワークシートで提示し、形式主語のルールを理解しているかを確認する。 活動の観察： CONVERSATION の活動を観察し、形式主語を用いた表現が正しく使えていることを確認する。

<p>(B)好きなテレビ番組についての対話 p.45 ACTIVITY</p>	<p>ペアで好きなテレビ番組について対話することができる。</p> <p>対話した内容を要約し、クラスで発表することができる。</p>		○		<p>活動の観察： ペアで相手の好きな番組とその理由についてメモを取らせ、適切に質問することができることを確認する。</p> <p>クラスでの発表： 対話の内容を英文でまとめさせ、クラスで発表した内容が正確であることを確認する。また、発表後、作文の課題として提出させ、評価することもできる。</p>
---	---	--	---	--	---

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A)聞き取り p.48 Warm-Up	弁当に関する対話を聞き、正しく理解することができる。			○		ワークシートの確認： Listening 問題をワークシートで提示し、内容に合う写真を選択していることを確認する。
(A)読解 pp.49-51 本文	外国の人が見た日本の「カワイイ」文化に関する英文を読み、内容を正しく理解することができる。			○		ワークシートの確認： 教科書下段にある本文についての質問と <i>Teacher's Book</i> に掲載されている補充問題をワークシートで提示し、本文の内容を正しく理解していることを確認する。
(A)海外での日本文化 pp.49-51 本文	日本と英語圏で異なる言語文化があることを理解することができる。				○	活動の観察： 本文で紹介された「カワイイ」文化について、ペアやグループで議論させ、その内容を発表させ、理解していることを確認する。また、その内容を英文でまとめさせ、個々の生徒の理解を確認することもできる。
(A)言語知識① p.52 KEY POINT① p.52 DRILL p.53 CONVERSATION	現在完了形（継続，経験，完了・結果）の使い方を理解している。				○	ワークシートの確認： DRILL の問題や『基礎文法ワークシート』pp.12-14 などの類題をワークシートで提示し、現在完了のルールを理解していることを確認する。 活動の観察： CONVERSATION の活動を観察し、現在完了形を使った英文を言えていることを確認する。その際、意味を正しく理解していることも確認する。
(B)友だちへのインタビュー p.53 ACTIVITY	友だちが経験したことについて、インタビューすることができる。 インタビューした内容を要約し、クラスで発表することができる。				○	活動の観察： クラスでのインタビュー活動を観察し、メモを取り、正確に質問できていることを確認する。 クラスでの発表： 対話の内容を英文でまとめ、クラスで発表した内容が正確であることを確認する。 ※インタビューで“Yes”と答えた相手には“When did you visit?”や“Where did you see?”などの追加質問させることを活動に加えると、より会話が深まり、評価しやすくなる。

<p>(A)言語知識② p.54 KEY POINT② p.54 DRILL p.55 CONVERSATION</p>	<p>現在完了進行形の使い方を理解している。</p>			<p>○</p> <p>ワークシートの確認： DRILL の問題や『基礎文法ワークシート』p.15 などの類題をワークシートで提示し、現在完了進行形のルールを理解しているかを確認する。 活動の観察： CONVERSATION の活動を観察し、現在完了進行形を用いた表現が正しく使えていることを確認する。</p>
<p>(B)先生や ALT にインタビューする p.55 ACTIVITY</p>	<p>先生や ALT にインタビューし、その内容をまとめた英文を書くことができる。</p>		<p>○</p>	<p>活動の観察： インタビュー活動を観察し、メモを取り、適切に質問することができていることを確認する。特に、(4)で考えた質問がどのような内容かを注意して観察し、評価する。 作文の確認： インタビュー活動で作成したメモを基に、インタビュー結果を英文にまとめさせ、適切な内容を書いていることを確認する。 ※作文の内容を基に、絵や写真を加え、先生や ALT を紹介する壁新聞やリーフレットをグループで作成させることで評価することもできる。</p>

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A)聞き取り p.56 Warm-Up	あいさつのしかたに関する対話を聞き、正しく理解することができる。			○		ワークシートの確認： Listening 問題をワークシートで提示し、内容に合うあいさつのイラストを選択していることを確認する。
(A)読解 pp.57-59 本文	アメリカでの社会・文化的慣習についての英文を読んで、内容を正しく理解することができる。			○		ワークシートの確認： 本文の内容を要約した英文を作成し、生徒の習熟度に合わせ、重要語句を抜いた語句補充問題をワークシートで提示し、本文の内容を正しく理解していることを確認する。
(A)アメリカのあいさつ pp.57-59 本文	アメリカの初対面の際のあいさつを理解することができる。				○	ロールプレイの観察： 本文の内容を基に、ペアで空港での誠とホストマザーの対面シーンをロールプレイさせ、実際に手を振り、ハグをするジェスチャーができていないかを観察する。また、クラス全体に演じさせてもよい。
(A)言語知識① p.60 KEY POINT① p.60 DRILL p.61 CONVERSATION	不定詞（名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法）の使い方を理解している。				○	ワークシートの確認： DRILL の問題や『基礎文法ワークシート』pp.16-18 などの類題をワークシートで提示し、不定詞のルールを理解していることを確認する。 活動の観察： CONVERSATION の活動を観察し、不定詞を使った英文を言えていることを確認する。その際、意味を正しく理解していることも確認する。
(B)不定詞カルタ p.61 ACTIVITY	不定詞を用いた英文を使ったカルタ取りに、グループで積極的に取り組むことができる。		○			活動の観察： グループで積極的にカルタ取りに取り組んでいることを観察する。カルタを読み上げる生徒だけでなく、カルタを取った生徒が札の内容を大きな声で読んでいることも評価することができる。

<p>(A)言語知識② p.62 KEY POINT② p.62 DRILL p.63 CONVERSATION</p>	<p>過去完了形の使い方を理解している。</p>			<p>ワークシートの確認： DRILL の問題や類題をワークシートで提示し、過去完了時制を理解していることを確認する。 ○ 活動の観察： CONVERSATION の活動を観察し、過去完了形を使った英文を言えていることを確認する。その際、時制や数に合わせて動詞や代名詞が変えられていることを確認する。</p>
<p>(B)くつを買う前にしたこと p.63 ACTIVITY</p>	<p>絵の内容を適切に英語で説明することができる。</p>		○	<p>活動の観察： 活動を観察し、絵の内容を適切に説明できていることを確認する。 作文の確認： 例も含め、絵の内容についての説明を英文にまとめさせ、正しく書けていることを確認する。</p>

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Let's Communicate 2 買い物をしよう

(配当時数：2 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A)買い物表現の理解 pp.64-65 本文	本文に書かれている買い物についての対話を聞いて、内容を正しく理解することができる。			○		ワークシートの確認： 対話内容に関する英問英答問題をワークシートで提示し、正しく理解できていることを確認する。
(B)買い物に関する表現の練習 pp.64-65 本文	店員と健二の立場で、相手に伝わるように対話することができる。		○			活動の観察： 正確なリズムとイントネーションで対話が行われていることを確認する。
(B)買い物での会話のロールプレイ① p.65 練習しよう	本文の対話の下線部を入れかえ、ペア協力して買い物に関する対話を続けることができる。	○				活動の観察： ペアによる対話が沈黙なくスムーズに進んでいることを確認する。また、店員と健二の役を替えることや、ペアを替え、数回繰り返して練習させてもよい。
(B)買い物での会話のロールプレイ② p.65 練習しよう (発展)	ロールプレイ1の活動に、服の色を加え、自分の欲しい服を買うことができる。		○			活動の観察： それぞれの色を付けたジャケット、Tシャツ、シャツのカードを作成し、それらを用いたペアによるロールプレイを観察し、思いどおりの色の服を買うことや売ることができているかを観察する。
(A)言語知識 pp.64-65 本文 p.64 Useful Expressions	買い物に関する表現を理解している。				○	活動の観察： ペアで本文や Useful Expressions で学んだ表現を使い、衣料品店での店員と客の対話活動を行わせ、適切に表現が使えていることを確認する。また、クラスで発表させてもよい。その際、どのような服を売る店にしたいかをペアで話し合わせ、売りたい服を絵に描かせたりネットで調べさせたりしてカタログなどを作成し、活動に使用すると、より現実に近い活動になる。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Reading 1 American or Not American?

(配当時数：6時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A)読解 pp.68-71 本文 p.72 Comprehension 1.2	日本にホームステイに来た高校生についての英文を読み、内容を正しく理解することができる。			○		<p>ワークシートの確認： 教科書下段にある Answer in English. や Answer in Japanese. の質問, Comprehension 1, 2, 『本文理解確認ワークシート』pp.24-27などをワークシートで提示し、本文の内容を正しく理解していることを確認する。</p> <p>活動の観察： 教科書を閉じ、個々の生徒に本文の内容を英語でまとめさせ、ペアでその内容を伝え合う (retelling) 活動を通して、正しく伝え合っているかを確認する。生徒の習熟度により、難しい場合はパラグラフごとにキーワードなどを、英語または日本語で提示してもよい。</p> <p>作文の確認： 上記の活動で話した内容を英語でまとめさせ、正しく理解していることを確認する。</p>
(A)教科書の音読 pp.68-71 本文	登場人物の気持ちが伝わるように、適切に音読することができる。		○			<p>個々の生徒の発音を観察： 登場人物の気持ち (怒っている, 不審に思っている, 楽しんでいる) を表現するように、CDの音声に近いリズムや抑揚で音読できていることを確認する。</p>
(B)グループディスカッション p.72 Comprehension 3	アンディーに対する春子の態度について、グループで話し合うことができる。		○			<p>活動の観察： グループでのディスカッションを観察し、適切な内容が話し合われていることを確認する。その際、春子と同じ態度を取るグループ (肯定) と反対の態度を取るグループ (否定) とに分け、ディベート形式で行ってもよい。生徒の習熟度により、英語でのディスカッションが難しいければ、ディスカッションで使用する表現や語句をワークシートや板書で提示したり、ディスカッションで話したい内容を英語で書かせ、それをチェックしたりしてから行うなどの事前準備をさせて行うとよい。</p>

(B)ペアによる音読 p.72 Activity	登場人物の気持ち考 え, 適切に音読するこ とができる。		○		個々の生徒の発音を観察： 登場人物の気持ち (不満, 驚いて, けげ んそうに) を表現するようなリズムや抑 揚で音読できているかを確認する。
-----------------------------	------------------------------------	--	---	--	---

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A)聞き取り p.76 Warm-Up	レストランでの会話を聞き、正しく理解することができる。			○		ワークシートの確認： Listening 問題をワークシートで提示し、内容に合ったイラストを選択していることを確認する。また、スクリプトから重要語句を抜いたものを提示し、ディクテーションさせ、正しく書き取れていることを確認する。
(A)読解 pp.77-79 本文	高校生レストランについての英文を読んで、内容を正しく理解することができる。			○		ワークシートの確認： 教科書下段にある本文についての質問をワークシートで提示し、本文の内容を正しく理解していることを確認する。 活動の観察： 教科書を閉じ、個々の生徒に本文の内容を英語まとめさせ、ペアでその内容を伝え合う (retelling) 活動を通して、正しく伝え合っているかを確認する 作文の確認： 上記の活動で話した内容を英文でまとめさせ、正しく理解していることを確認する。
(A)言語知識① p.80 KEY POINT① p.80 DRILL p.81 CONVERSATION	現在分詞および過去分詞を使った修飾表現を理解している。			○		ワークシートの確認： DRILL の問題や『基礎文法ワークシート』pp.22-23 などの類題をワークシートで提示し、現在分詞や過去分詞による修飾のルールを理解していることを確認する。 活動の観察： CONVERSATION の活動を観察し、現在分詞を使った英文でクラスメイトの説明が適切に行われていることを確認する。ペアを替えて行うことや、クラス全体で行うなどして評価することもできる。
(B)公園の様子を伝え合う p.81 ACTIVITY	公園の様子を英語で適切に説明することができる。		○			活動の観察： 活動を観察し、Word Box の単語や表現を活用し、公園の様子を適切に説明できていることを確認する。

<p>(A)言語知識② p.82 KEY POINT② p.82 DRILL p.83 CONVERSATION</p>	<p>関係代名詞の使い方を理解している。</p>				<p>ワークシートの確認： DRILL の問題や『基礎文法ワークシート』pp.24-25 などの類題をワークシートで提示し、関係代名詞のルールを理解していることを確認する。 活動の観察： CONVERSATION の活動を観察し、関係代名詞を使った表現が適切に使えていることを確認する。</p>
<p>(B)職業あてゲーム p.83 ACTIVITY</p>	<p>関係代名詞を使った職業あてゲームに積極的に取り組むことができる。</p>	○			<p>活動の観察： グループで積極的に活動に取り組んでいることを観察する。英文を読み上げる生徒と職業を選んで言う生徒が、大きな声で内容を読んでいることも評価する。</p>
<p>(A)言語知識③ p.84 KEY POINT③ p.84 DRILL p.85 CONVERSATION</p>	<p>関係副詞の使い方を理解している。</p>				<p>ワークシートの確認： DRILL の問題や『基礎文法ワークシート』p.26 などの類題をワークシートで提示し、関係副詞のルールを理解していることを確認する。その際、関係代名詞との違いに注目させる。 活動の観察： CONVERSATION の活動を観察し、関係副詞を使った表現活動が適切に行われていることを確認する。</p>
<p>(B)学校にある場所当てクイズ p.85 ACTIVITY</p>	<p>学校にある場所の名前を適切に説明することができる。</p>	○			<p>活動の観察： ペアまたはグループで場所あてクイズを出し合わせ、正しく説明できていることを確認する。また、活動はクラス全体で行ってもよい。</p>

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Let's Communicate 3 道案内をしよう

(配当時数：2 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A)道案内の基本表現の確認 p.86 Warm-Up	道案内の会話で使用する基本的な表現を理解している。		○			活動の確認： 教室内の机を1ブロック、机と机の間を道路と見立て、ペアやグループで“Go straight.”や“Turn left.”などの指示を出し合い、実際に教室内を移動させる活動を行わせ、正しく表現できていることを確認する。
(A)道案内表現の理解 pp.86-87 本文	本文に書かれている道案内の対話を聞いて、内容を正しく理解することができる。			○		ワークシートの確認： p.86の地図をワークシートに掲載し、本文の内容に合わせて“You are here.”の場所から線を引かせ、どのようなルートで京都タワーにたどり着いたかを確認する。
(B)道案内表現の練習 pp.86-87 本文	BobとStudentの立場で、相手に伝わるように対話することができる。		○			活動の観察： 正確な発音やリズム・抑揚で対話が行われていることを確認する。
(B)道案内の会話 p.87 練習しよう	出発地と目的地を決め、ペアで道案内の会話を行い、目的地までたどり着くことができる。		○			活動・ワークシートの観察： (A)道案内表現の理解で使用したワークシートを使い、本文の表現を利用し、ペアで出発地から目的地までのルートを線でたどりながら会話させ、正しく目的地に到着していることを確認する。
(B)実際の地図を使った道案内 p.87 Useful Expressions	実際の地図を使って道順をたずねたり、教えたりすることができる。		○			活動の観察： 英語で書かれた自分の住んでいる町や近隣の大きな都市の地図または行ってみたい国の都市の地図を用意し、出発点と目的地を決め、本文や Useful Expressions で学んだ表現を使って道案内の会話を行わせ、正しく目的地にたどり着いていることを確認する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A)聞き取り p.88 Warm-Up	写真のサッカー選手についての聞き取り活動に、積極的に取り組んでいる。	○				ワークシートの観察： Listening 問題をワークシートで提示し、積極的に取り組んでいることを確認する。また、選手のプロフィールを簡単な英文で紹介することや、それぞれの選手について知っていることをグループで話し合わせ、積極的に取り組んでいることを評価することもできる。
(A)読解 pp.89-91 本文	サッカーにおけるコミュニケーションについての英文を読んで、内容を正しく理解することができる。			○		ワークシートの確認： 教科書下段にある本文についての質問をワークシートで提示し、本文の内容を正しく理解していることを確認する。 活動の観察： 教科書を閉じ、個々の生徒に本文の内容を英語まとめさせ、ペアでその内容を伝え合う (retelling) 活動を通して、正しく伝え合っているかを確認する。 作文の確認： 上記の活動で話した内容を英文でまとめさせ、正しく理解していることを確認する。
(A)言語知識① p.92 KEY POINT① p.92 DRILL p.93 CONVERSATION	形式目的語の使い方を理解している。				○	ワークシートの確認： DRILL の問題や『基礎文法ワークシート』p.27 などの類題をワークシートで提示し、形式目的語のルールを理解していることを確認する。 活動の観察： CONVERSATION の活動を観察し、形式主語を使って映画についての対話が適切に行われていることを確認する。
(B)学校生活についての対話 p.93 ACTIVITY	学校生活を楽しく過ごすために必要なことを考え、話し合うことができる。		○			ワークシートの確認： 学校生活を楽しく過ごすために必要なこと、必要ないと思うことをワークシートに記入させ、正しく書けていることを確認する。 活動の観察： 活動を観察し、作成したワークシートの内容や Word Box の単語や表現、例を活用し、ペアで適切に対話できていることを確認する。

<p>(A)言語知識② p.94 KEY POINT② p.94 DRILL p.95 CONVERSATION</p>	<p>関係代名詞 what の使 い方を理解している。</p>			<p>ワークシートの確認： DRILL の問題や『基礎文法ワークシ ート』p.28 などの類題をワークシートで提 示し、関係代名詞 what のルールを理解 していることを確認する。その際、他の ○ 関係代名詞の用法との違いを理解して いることにも注意する。 活動の観察： CONVERSATION の活動を観察し、関 係代名詞 what を使った表現が適切に使 えていることを確認する。</p>
<p>(B)スポーツあてゲーム p.95 ACTIVITY</p>	<p>関係代名詞 what を使 ったスポーツあてゲ ームに積極的に取り 組むことができる。</p>	○		<p>活動の観察： グループで積極的に活動に取り組んで いることを観察する。英文を読み上げる 生徒とスポーツを選んで言う生徒が、大 きな声で内容を読んでいることも評価 する。</p>

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A)聞き取り p.96 Warm-Up	ケニアについての説明を聞き、正しく理解することができる。			○		ワークシートの確認： Listening 問題をワークシートで提示し、正しく理解していることを確認する。また、スクリプトから重要語句を抜いたものを提示し、ディクテーションさせ、正しく書き取れていることを確認する。
(A)読解 pp.97-99 本文	「もったいない」という日本語についての英文を読んで、内容を正しく理解することができる。			○		ワークシートの確認： 教科書下段にある本文についての質問をワークシートで提示し、本文の内容を正しく理解していることを確認する。 活動の観察①： 教科書を閉じ、個々の生徒に本文の内容を英語でまとめさせ、ペアでその内容を伝え合う (retelling) 活動を通して、正しく伝え合っているかを確認する。 活動の観察②： 上記の活動で話した内容をグループで英文にまとめ、“ <i>Mottainai</i> ” について紹介するポスターを作成させる。この活動を通して、内容を正しく理解していることを確認する。また、完成したポスターを教室や廊下に掲示し、他のグループや生徒同士、ALT や他の先生方に評価してもらってもよい。 ※ポスターではなく、プレゼンテーションの形式で行ってもよい。
(A)言語知識① p.100 KEY POINT① p.100 DRILL p.101 CONVERSATION	受け身の使い方を理解している。			○		ワークシートの確認： DRILL の問題や類題をワークシートで提示し、受け身のルールを理解していることを確認する。その際、能動態との用法の違いを理解しているかに注意する。 活動の観察： CONVERSATION の活動を観察し、受け身を使っているいろいろな国のことばについての対話が適切に行われていることを確認する。

(B)国名あてゲーム p.101 ACTIVITY	受け身を使った国名あてゲームに積極的に取り組むことができる。	○			活動の観察： グループで積極的に活動に取り組んでいることを観察する。大きな声で英文を読んでいることも評価する。
(A)言語知識② p.102 KEY POINT② p.102 DRILL p.103 CONVERSATION	知覚動詞の使い方を理解している。			○	ワークシートの確認： DRILL の問題や『基礎文法ワークシート』p.30 などの類題をワークシートで提示し、知覚動詞のルールを理解していることを確認する。 活動の観察： CONVERSATION の活動を観察し、知覚動詞を使って話す活動が適切に行われていることを確認する。
(B)記憶ゲーム p.103 ACTIVITY	絵の内容を記憶し、その内容を伝えるゲームで、正確に内容を伝えることができる。	○			活動の観察： 例や Word Box の表現を用いて、絵の内容を正確に伝えていることを確認する。 活動後、絵を見ずに、伝えた内容をクラスで発表させてもよい。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A)読解 pp.104-107 本文 p.108 Comprehension (前半)	ワンガリ・マータイさんが行った緑化運動についての英文を読んで、内容を正しく理解することができる。			○		<p>ワークシートの確認： 教科書下段にある Answer in English. や Answer in Japanese. の質問, Comprehension, 『本文理解確認ワークシート』pp.40-43などをワークシートで提示し、本文の内容を正しく理解していることを確認する。</p> <p>活動の観察： 教科書を閉じ、個々の生徒に本文の内容を英語でまとめさせ、ペアでその内容を伝え合う (retelling) 活動を通して、正しく伝え合っているかを確認する。</p> <p>作文の確認： 上記の活動で話した内容を英文でまとめさせ、正しく理解していることを確認する。</p>
(A)本文要約の音読 p.108 Comprehension (後半)	相手に伝わるように、正確に音読することができる。		○			<p>個々の生徒の発音を観察： 正確なリズムとイントネーションで音読できているかを確認する。</p>
(B)インターネットでの検索 p.108 ACTIVITY (前半)	ワンガリ・マータイさんについて、インターネットを利用し、積極的に調べ、キーワードを書き出すことができる。	○				<p>活動の観察： インターネットの検索サイトを利用し、ワンガリ・マータイさんのことを積極的に調べ、多くの情報を見つけ出していることを確認する。その際、キーワードや調べた情報をメモさせるとよい。</p>
(B)ワンガリ・マータイさんについて英文でまとめ、発表する。 p.108 ACTIVITY (後半)	ワンガリ・マータイさんについて、インターネットで調べたキーワードを使い、5文程度の英文にまとめ、発表することができる。		○			<p>作文の確認： 上記の活動で調べたワンガリ・マータイさんについてのメモを用いて、正しく英文にまとめられていることを確認する。</p> <p>活動の観察： 英文にまとめた内容をクラスで発表する活動を観察し、正確に発表できていることを確認する。</p> <p>※教科書では5文程度となっているが、それぞれのキーワードをクラスの生徒で分担し、1~4 パラグラフ程度の英文を書かせたものを編集して、ワンガリ・マータイさんを紹介するニューズレターを作らせる活動も可能である。</p>

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解